

令和2年度事業報告書

社会福祉法人田子町社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人田子町社会福祉協議会事業報告書

今年度は新型コロナウイルス感染症により、人と接触する機会を減らすことが求められ、従来の社協活動や地域住民による地域福祉活動が思うように行うことができず、誰もが戸惑う年となりました。

この未曾有の事態により、外出機会の制限や経済的打撃を受け、これまで培ってきた地域のつながりが希薄化することで、社会的孤立及び経済的困窮が顕著な課題となりました。

本会ではこうした課題に対し、従来の社協活動に代わる取り組みが何かできないかと思案し、少しでも人とのつながりを感じてもらえるよう、絵はがき配布事業や本会職員常駐のサロン開催、ケーブルテレビを活用した研修会の開催等、積極的に新たな取り組みに努めました。

また、感染症対策が一層徹底されることとなった介護保険事業を始めとする福祉サービスにおいても、感染者を出さないことを第一にしながら、利用者のニーズに対応したサービスの提供に努めました。

1. 適正かつ能率的な運営と健全な経営の確保

(1)理事会及び評議員会等の開催

理事会・監査会・評議員会並びに各委員会を開催し社協事業の円滑な運営に努めました。

また、正副会長会議、管理者会議、運営改善会議を開いて介護保険事業並びに社協の事業についての情報の共有化を図り経営の健全化に努めました。

<理事会の開催 3回>

○第1回理事会

日時	令和2年6月5日(金) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	報告第1号 会長の職務執行状況について 議案第1号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について 議案第2号 令和2年度一般会計補正予算(第1号)について (監査報告) 議案第3号 令和元年度事業報告書の承認について 議案第4号 令和元年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第5号 理事の選任の提案について 議案第6号 令和2年度定時評議員会の決議の省略について

○第2回理事会

日 時	令和2年12月3日(木) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第2号 会長の職務執行状況について 議案第7号 災害対応初期行動マニュアルの策定について 議案第8号 田子町社会福祉協議会資格取得等貸付事業実施要綱の策定について 議案第9号 令和2年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第10号 評議員会の開催について

○第3回理事会

日 時	令和3年3月5日(金) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第3号 会長の職務執行状況について 議案第11号 令和2年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第12号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員給与規程の一部改正について 議案第13号 令和3年度事業計画について 議案第14号 令和3年度一般会計予算について 議案第15号 評議員会の開催について

<評議員会の開催3回>

○定時評議員会

日 時	決議の省略の方法による
場 所	
案 件	議案第1号 令和2年度一般会計補正予算(第1号)について 議案第2号 令和元年度事業報告書の承認について 議案第3号 令和元年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第4号 理事の選任について

○第2回評議員会

日 時	令和2年12月14日(月) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第5号 災害対応初期行動マニュアルの策定について 議案第6号 田子町社会福祉協議会資格取得等貸付事業実施要綱の策定について 議案第7号 令和2年度一般会計補正予算(第2号)について

○第3回評議員会

日 時	令和3年3月17日(水) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第8号 令和2年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第9号 令和3年度事業計画について 議案第10号 令和3年度一般会計予算について

<監査会の開催 2回>

○第1回監査会

日時	令和2年5月27日(月) 午後2時
場所	せせらぎの郷 和室
内容	令和元年度法人運営並びに事業実施状況について 令和元年度会計処理状況について

○第2回監査会

日時	令和2年11月27日(金) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 和室
内容	令和2年度上半期(4月～9月)会計処理状況について

<苦情処理委員会 1回>

日時	令和2年8月25日(火) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	苦情解決の流れ及び第三者委員の役割について 令和元年度～令和2年度(R1.5～R2.6)の状況報告

<社会福祉推進委員会 1回>

日時	令和2年10月21日(水) 午後2時
場所	田子町中央公民館 ホール
案件	委員長及び副委員長の選任について コロナ禍における社協事業の実施状況について ※令和3年3月末 社協事業(地域福祉関係)実施状況報告を送付

<正副会長会議>

12回(4/30、5/29、6/29、7/31、8/31、9/30、10/30、11/30、12/25、1/29、2/26、3/26)

人事・事業運営並びに経営状況等について定例的な情報交換と協議を行い、本会の健全な経営に努めました。

<管理者会議>

6回(4/20、5/20、6/19、7/21、8/24、9/18)

各部署管理者(事務局長、所長)において、介護保険事業の経営状況並びに各部署の運営状況についての情報の共有化を図り、課題の分析・対応について協議し経営の健全化に努めました。

<運営改善会議>

6回(10/20、11/13、12/15、1/20、2/18、3/18)

管理者会議において検討していた事項について、各部署より幹部職員等(事務局長、所長、館長等)が参加することで、より具体的な改善策の検討に努めました。

(2) 社協会費(自主財源)の確保

社協の自主財源である会費の確保について、町民各位並びに各事業所の理解と協力のもとに総額 2,630,000 円(介護・障害サービス収入を除く収入の 3.4%)の実績をあげることができました。

＜社協会費納入内訳＞

会員区分		会費年額	会員数	会費額
世帯会員	普通会員	1,000 円	1,366 人 (-11 人)	1,366,000 円 (-10,500 円)
	賛助会員	2,000 円	417 人 (-11 人)	834,000 円 (-22,000 円)
	小計 ①		1,783 人 (-22 人)	2,200,000 円 (-32,500 円)
団体賛助会員②		1 口 5,000 円	33 事業所 86 口	430,000 円 (-5,000 円)
合計 ①+②				2,630,000 円 (-37,500 円)

※()内は前年度対比

(3) 補助金及び委託金の確保

公的財源の適正且つ安定的な確保をめざし、田子町や青森県社会福祉協議会等から助成金、補助金及び委託金の交付を受け事業を実施しました。

町や県社協等からの補助金並びに委託金の総額は、61,279,200 円(総収入の 35.8%)で、介護・障害サービス収入を除く収入の 79%となっています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として介護サービスを提供するために必要なかかり増し経費に対し、3つの介護保険事業所へ青森県より総額 1,291,000 円の補助金を受けました。

(4) 共同募金配分金

青森県共同募金会から地域福祉活動事業費として 1,160,000 円の配分金を受け、次のような事業を実施しました。

＜共同募金配分金による事業＞

事業名	配分額	備考
田子町社会福祉大会の開催	270,000 円	
広報物の作成	395,000 円	社協だより 2,200 部 × 4 回
福祉協力校活動費	250,000 円	町内 5 校のボランティア活動費
心配ごと相談事業	75,000 円	弁護士等の専門相談費用
ほっとできる居場所づくり事業	170,000 円	ほのぼの・よりみちカフェの実施
合計	1,160,000 円	

(5) 寄付金及び基金の果実

町民各位の福祉に対する深い理解と協力により、寄付金並びに物品が寄せられました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策に係る物品寄贈も多数ありました。

- ・寄付金 9 件 62,053 円
- ・寄付物品 12 件 (電子体温計、マスク、ハンドジェル、シャワーチェア等)

2. 介護保険事業の実施と福祉サービスの充実

(1) 介護保険事業の実施

ア. 居宅介護支援事業(田子町社協指定居宅介護支援事業所)

利用者本位のサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、介護支援専門員の資質の向上を図りながら利用者の自立支援に努めました。

介護支援専門員については、常勤専従管理者1名と常勤専従3名の4名体制で始動しましたが、5月に1名の退職者があり以後3名体制で業務を行いました。

利用件数は、計画作成延件数が1,153件(月平均96.1件)あり、その内新規契約件数は前年度より1件増の37件(月平均3.1件)となりました。

しかし、新規の内3件は計画作成に至らなかったほか、特別養護老人ホーム等へ入所するケースが4件(前年度比-20件)、事業所変更が4件(前年度対比-2件)、他界された方が18件(前年度対比+3件)ありました。

施設入所者数が前年度対比で20件の減となった理由としては、入所施設の空床がないことや、空床ができたとしても他居宅事業所の利用者が入所になったことが要因と考察され、結果として安定した契約につながり、収入は前年度より555,060円の増収となっています。

また昨年度同様、町担当課に対し在宅生活に繋がる計画作成の見込みのある新規利用者を継続して紹介してもらうよう要望しました。

<居宅介護支援事業実施状況>

新規契約件数	37件 (+1件)
計画作成延件数	1,153件 (+31件)
1月当たりの計画作成件数	96.1件 (+2.6件)
住宅改修支援件数	2件 (-3件)
福祉用具購入等支援件数	7件 (+2件)

※()内は前年度対比

<月別居宅介護計画作成件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	104	98	101	100	94	94	
	(+10)	(±0)	(+2)	(+2)	(-1)	(+3)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	95	97	93	91	91	95	1,153
	(+1)	(+5)	(+4)	(+4)	(+3)	(-2)	(+31)

※()内は前年度対比

<月別介護支援専門員数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	4	3	3	3	3	3	
	(+0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	3	3	3	3	3	3	37
	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-0.5)	(-5.0)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員 1人当たりの担当件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	26.0	32.7	33.7	33.3	31.3	31.3
	(-0.9)	(+4.7)	(+5.4)	(+5.3)	(+4.2)	(+5.3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	31.7	32.3	31.0	30.3	30.3	31.7
	(+4.8)	(+6.0)	(+5.6)	(+5.4)	(+5.2)	(+4.0)

※()内は前年度対比

イ. 訪問介護事業(田子町社協指定訪問介護事業所)

年度途中に職員の退職や怪我による休暇などにより職員体制に大きく変動がありながらも、ケアマネジャーを中心とする関係機関等と連携しながら、利用者ができる限り在宅で安心して生活が継続できるようにサービスの提供に努めました。

今年度は、新規・再開利用者は21名で去年より2名の増となりましたが、長期の利用にはならないケースが多く、またショートステイの利用の延長等で回数を大きく増加することができませんでした。収入は前年度対比で184,310円の増収となっていますが、収支差額は依然として開きがある状況になっています。

その要因として、職員体制の都合により訪問件数を増やせなかったことや、新型コロナウイルス感染症予防対策物品を購入しなくてはならなかったことも大きく関わっています。

サービス別では、「身体介護」の利用回数は前年度対比で若干の増となりましたが、「身体生活」「生活援助」の利用回数は減となりました。

障害者については、新規の利用者が2名増え、実利用者は昨年度と同じ7名でしたが、キャンセル数が昨年度の2倍となり、訪問回数が93回減ったことにより250,450円の減収となりました。

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	サービス提供責任者兼務 介護福祉士
訪問介護員	1人	2人	0人	2人	介護福祉士 2人 ヘルパー2級 1人
合計	2人	2人	0人	4人	

※R3.3.31 現在

＜訪問介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	居宅介護(障害)	計
利用登録者	39人 (-3人)	6人 (+1人)	7人 (±0人)	52人 (-2人)
実利用者数	39人 (-3人)	6人 (+1人)	7人 (±0人)	52人 (-2人)
新規・再開利用者数	16人 (-1人)	3人 (+2人)	2人 (+1人)	21人 (+2人)
延訪問回数	2,502回 (-10回)	213回 (+93回)	331回 (-93回)	3,046回 (-10回)
サービス別訪問回数	身体介護	1,687回 (+188回)		1,687回 (+188回)
	身体生活援助	815回 (-181回)		815回 (-181回)
	生活援助	0回 (-17回)	52回 (-68回)	324回 (-100回)
延活動時間数	1,832.9時間 (-47.1時間)	190.5時間 (+81.5時間)	326.8時間 (+143.8時間)	2,350.2時間 (+178.2時間)

※()内は前年度対比

＜訪問介護事業月別キャンセル状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護・介護予防	11	11	5	5	7	8	13	10	1	6	6	9	92
居宅介護(障害)	5	1	7	8	7	5	3	3	4	5	1	2	51
計	16	12	12	13	14	13	16	13	5	11	7	11	143

単位:回

＜訪問介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	26	27	26	27	26	27	27	24	25	24	23	26	36
	3	2	4	4	4	4	4	4	5	6	6	6	6
延訪問回数	218	202	210	218	223	236	229	212	194	192	162	206	2,502
	11	12	15	19	15	17	17	14	22	22	23	26	213
身体介護	144	131	143	155	161	177	167	152	118	111	98	136	1,693
	74	71	67	63	62	59	62	60	76	81	64	70	809
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活援助	11	12	15	19	15	17	17	14	22	22	23	26	213
	156	143	152	159	160	159	159	157	147	149	122	170	1,833
延活動時間	10	10	13	17	13	15	15	13	20	20	21	23	190

※実利用者数の計は年間の実利用者数 下段は介護予防

＜居宅介護サービス月別実施状況(障害)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	5	5	5	5	5	5	5	6	7	7	7	7	7
訪問回数 (身体障害者)	5	4	4	5	4	4	5	9	9	8	8	8	73
訪問回数 (精神障害者)	27	21	21	14	15	19	18	19	24	22	25	33	258

ウ. 通所介護事業(田子町老人デイサービスセンター)

利用者の心身機能の維持向上と社会参加を促進し、日常生活が活性化されるよう利用者個々の状態と家族の介護負担の軽減に配慮しながらサービスの提供に努めました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、利用者家族が感染拡大地域から帰省した場合に2週間のサービス利用を控えていただく対応を取ったほか、乗車前の体温測定の徹底、介護スタッフや利用者のマスク、手指消毒の徹底、飛散防止パネルの設置など、通常業務以外の対応が求められ、これまでになかった事態が起きていると実感させられた1年でした。

そのようなコロナ禍であっても、育児休業を明けた職員が戻ったことで人員体制が充実し、ケアマネジャーとも連携し、多くの利用者を受け入れることができた結果、介護報酬は前年度対比で10,030,090円の増収となりました。

障害者自立支援(障害者通所介護)では、昨年度から引き続き2名の利用者が利用され、安定した利用により66,040円の増額となりました。

全体的にみると年間実利用者は9名の増加となり、延利用回数も前年度より1,027回増となりました。1日当たりの稼働率(障害を含む)は前年度より8.3%増の56.1%、1日当たりの平均利用者数は、前年度より3.4人増の22.5人となりました。

＜通所介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	障害者自立支援	計
実利用者数	87人 (+7人)	6人 (+2人)	2人 (±0人)	95人 (+9人)
延利用件数	6,574回 (+970回)	282回 (+50回)	148回 (+7回)	7,004回 (+1,027回)
1日当たりの平均利用者数	21.1人 (+3.2人)	0.9人 (+0.2人)	0.5人 (±0人)	22.5人 (+3.4人)
稼働日数				312日 (-1日)
年間稼働率				56.1% (+8.3%)

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜通所介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	63	70	70	69	76	70	69	69	67	63	66	66	93
延利用件数	531	581	582	619	601	624	624	567	568	502	490	567	6,856
延食事提供数	520	570	574	611	582	612	613	556	563	488	481	569	6,739
延入浴介助件数	495	545	550	586	556	584	590	517	544	477	466	541	6,451
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	25	24	27	312
平均利用者数/日	20.4	22.3	22.4	22.9	23.1	24.0	23.1	22.7	21.0	20.1	20.4	21.0	22.0
稼働率(%)	51.1	55.9	56.0	57.3	57.8	60.0	57.8	56.7	52.6	50.2	51.0	52.5	54.9

※実利用者数の計及び稼働率の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数及び稼働率

＜通所介護事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	12	14	12	13	9	13	14	12	13	12	12	12	148
延食事提供数	12	14	12	13	9	13	14	12	13	12	12	12	148
延入浴介助件数	12	14	12	13	9	13	14	12	13	12	12	12	148

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜移動(送迎)支援事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	24	28	24	26	18	26	28	24	26	24	24	24	296
稼働日数	12	14	12	13	9	13	14	12	13	12	12	12	148

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	社会福祉主事 初任者研修 相談員兼務
生活相談員	1人	1人	0人	2人	介護福祉士 2人 介護職員兼務
看護職員	3人	0人	1人	4人	機能訓練指導員兼務 看護師 3人 准看護師 1人
介護職員	0人	4人	4人	8人	介護福祉士 2人 初任者研修 4人 ヘルパー2級 2人
調理員	0人	1人	4人 (うち1人育休)	5人 (うち1人育休)	調理師 2人 配食サービス兼務
計	5人	6人	9人 (うち1人育休)	20人 (うち1人育休)	

※R3.3.31 現在

(2)在宅福祉サービスの充実

ア. 福祉有償運送事業(町補助事業)

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難又は移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象として、医療機関への送迎を中心に外出の利便を図り社会参加の支援に努めました。

本事業はあらゆる医療機関や施設から不特定多数の利用者を送迎することからも、新型コロナウイルス感染症予防対策として、運転席と後部座席を仕切るパーテーションを取り入れることで、コロナ禍における環境整備にも留意しました。

また、年度途中で専属運転手が長期休暇を取る事態となりましたが、福祉有償運送運転者講習を受講した職員を増員したことにより、安定した予約受入体制を取ることができました。

<福祉有償運送事業実施状況>

登録者数	96人 (+30人)
実利用者数	68人 (-3人)
稼働日数	201日 (+3日)
延利用件数	723件 (-6件)

※()内は前年度対比

<福祉有償運送事業月別実施状況>

稼働月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	15	14	21	20	13	18	19	17	16	14	15	19	201
実利用者数	22	22	35	34	28	30	31	31	22	19	23	23	68
延利用件数	52	49	87	70	60	66	75	71	50	41	50	52	723
町内	36	31	43	33	39	33	40	31	25	18	24	27	380
三戸・南部	10	6	20	21	9	14	27	27	7	15	14	11	181
八戸市	0	5	16	8	4	8	4	5	12	6	4	8	80
その他	6	7	8	8	8	11	4	8	6	2	8	6	82

※実利用者数の計は年間の実利用者数

イ. 配食サービス事業(町委託事業)

調理の困難な高齢者や障害者へ栄養バランスの取れた食事を提供し、安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

今年度は遠方よりご家族が帰省された利用者に対しては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、通常の配達職員とは異なる特定の職員が予防対策をしたうえで配達したり、容器も使い捨てのものを使用することで対応しました。

<配食サービス事業実施状況>

登録者数	54人 (+6人)
稼働日数	311日 (+9日)
延べ食数	5,073食 (+232食)
1日当たりの平均食数	16.3食 (+0.2食)

※()内は前年度対比

<配食サービス月別実施状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27	311
実利用者数	34	34	35	32	31	27	27	26	30	29	31	34	370
延食数	466	451	461	440	412	397	406	362	434	401	385	458	5,073
平均食数/日	17.9	17.3	17.7	16.3	15.8	15.3	15.0	14.5	16.1	16.7	16.0	17.0	16.3

※実利用者数の計は年間の実利用者数 単位:日数~日、実利用者数~人、食数~食

ウ. 福祉機器貸与事業

在宅介護を支援するため、福祉用具を無料で貸し出し、日常生活の援助に努めました。

<福祉機器貸出状況>

福祉用具	車椅子	電動ベッド	ギャッチベッド	平ベッド	エアマット
保有台数	11台(+1)	4台(±0)	7台(-1)	2台(±0)	1台(±0)
新規貸出数	2台(-3)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)
返却数	1台(-5)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)	0台(±0)
貸出中の台数	5台(+1)	2台(±0)	6台(-1)	2台(±0)	0台(±0)

※R3.3.31 現在 ()内は前年度比

3. 地域福祉の推進

(1) ほのぼのコミュニティ21 推進事業(町委託事業)

住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目指して、地域住民同士の見守り活動の体制づくりを進め、自治会、民生委員児童委員とともに日常での見守り体制の構築や事業の活性化に努めました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、多くの人数を集めることが困難であったことから、協力員の事業説明に係る書類を郵送することで対応したほか、田子町ケーブルテレビジョンの協力により、ケーブルテレビを活用した研修会も実施しました。

また、各地域で開催する事業説明会は、コロナ禍において各自治会の総会等もほとんどが書面によって行われたため4地区のみの実施となりました。

ふれあいいいききサロンは、サロンリーダーの不安を少しでも解消するよう町地域包括支援課主任保健師に依頼し「消毒の基本」について研修会を行いました。その後の全国的な感染が青森県にも拡大し、開催は2地区のみとなり、参加者数も大幅に減少することとなりました。

今後はサロン活動再開に向けての支援のほか、コロナ禍であってもほのぼの協力員の役割が生かせるよう、田子町地域見守りネットワークと連携した要支援者の実態把握が課題となります。

<ほのぼの交流事業活動状況>

協力員グループ数	55グループ (-7グループ)
協力員総数	147人 (+1人)
対象世帯総数	133世帯 (-7世帯)
情報交換会・事業説明・打合せ	4地区延4回 (-7地区 延-7回)
ふれあい交流会	0地区0回 (±0地区 延±0回)
ふれあいいいききサロン登録数	34グループ (±0グループ)
ふれあいいいききサロン	2地区延3回 (-2地区 延-72回)
ふれあいいいききサロン参加者数	延43人 (-1,282人)
福祉協力員・ほのぼの協力員兼任合同研修会	3回 (+2回)

※()内は前年度対比

<令和2年度ほのぼの協力員・福祉安心電話協力員合同研修会(講演放送)>

放送日時	田子町ケーブルテレビジョンによる放送 令和3年2月20日(土) 18:30、21:30 2月21日(日) 9:00、13:00、18:30、21:30 2月22日(月) 9:00、13:00
放送内容	演題「コロナ禍における見守り活動～心を密にマスクの下はいつも笑顔で～」 講師 八戸学院大学健康医療学部 人間健康学科 教授 吉田守実氏

<ふれあい・いきいきサロン開催状況>

サロン名	行政区	実施回数	延参加者数(人)
野月ふれあいサロン	野月	2	22
石亀地区サロン	石亀	1	21
計	2地区(-20地区)	3回(-74回)	43人(-1,239人)

※()内は前年度対比

<ふれあい・いきいきサロンリーダー研修会>

日時	令和2年12月8日(火) 午前10時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
内容	「消毒の基本について(手指消毒編)」 講師 田子町地域包括支援課 主任保健師 市村志寿子氏

(2)心配ごと相談事業

民生委員4人を相談員として委嘱し、毎月第3火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。

相談にあたっては相談者の利便性やプライバシーを考慮し、事前の予約で相談者の希望する場所に出向いて相談を受けることもできる体制を取り、ケーブルテレビや社協だより、ホームページを活用して事業のPRの強化を図りました。

また、定期の相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間3回設けていましたが、今年度から町地域包括支援課でも弁護士相談の回数が増えたことで、専門相談の利用が2回となりました。その他、日常の相談については随時事務局で対応しました。

<相談事業実績状況>

年間開設日数	14日(-1日) ※専門相談日2日を含む
相談実日数	71日(+12日)
延相談利用者数	81人(+22人)
実相談内容件数	59件(+8件 ※再来24件)
延面接所要時間	6,277分(+4,997分)
1件あたりの所要時間	77.4分(+55.8分)

※()内は前年度対比

<相談内容別処理状況>

相談内容	件数	解決	再来	他機関	その他	支援中/ 未解決
生計に関すること	33	9	18	2	0	4
人権・法律に関すること	5	0	3	2	0	0
財産に関すること	2	0	0	2	0	0
母子保健・児童福祉	1	0	0	0	0	1
障害者・児福祉	1	0	0	1	0	0
老人福祉に関すること	17	6	3	4	0	4
苦情	2	1	0	0	0	1
あつぷるハートに関すること	2	1	0	0	0	1
福祉安心電話に関すること	15	7	0	0	0	8
その他	3	1	0	1	0	1
合計	81	25	24	12	0	20

※複数の項目に該当するものについては各件数に集計されるため、実相談内容件数と差異あり

＜専門相談実施状況＞

専門相談開催日	弁護士氏名	相談者数
令和2年8月26日	立花法律経済事務所 立花康雄弁護士	1人
令和2年11月25日	弁護士法人たいよう総合法律事務所 小西秀明弁護士	4人

＜心配ごと相談員並びに運営委員合同会議＞

日時	令和3年3月12日(金) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	令和2年度心配ごと相談状況報告について 令和3年度心配ごと相談事業の運営について 心配ごと相談所運営委員の選任について

(3) 福祉安心電話事業(緊急通報システム)

単身の高齢者や高齢者のみの世帯・身体障害者世帯などを対象に、地域の社会資源を有効に活用するとともに近隣の住民はもとより地域の関係機関・団体とのネットワーク化を図りながら、電話を媒体とした「緊急通報システム」を形成して、対象者の緊急時の対応と日常の安心感を得るよう努めました。

福祉安心電話協力員に対しては、ほのぼの協力員と合同の研修会をケーブルテレビで放送することで実施しましたが、例年開催していた利用者及び協力員の交流会はコロナ禍により中止としています。

＜福祉安心電話設置状況＞

新規入会件数	6件 (+3件)
退会件数	1件 (+1件)
設置世帯件総数	33件 (+5台)
協力員数	99人 (+10人)

※()内は前年度対比

＜相談・緊急通報状況＞

緊急	9件 (+9件)
相談	11件 (+6件)
連絡(お元気コール含む)	102件 (+29件)
誤報	0件 (-15件)
停電	24件 (-19件)
その他(機器試験)	7件 (-9件)
計	153件 (+1件)

※()内は前年度対比

(4) 会食交流事業(寄りあいっこ)

65才以上の高齢者を対象に、外出と集いの場を提供し、閉じこもり予防や仲間づくりの支援を図るとともに、様々な活動を通して、生きがいの高揚、身体的・精神的機能低下の予防にも努めました。

例年は5月から翌年2月まで毎月開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため11月まで中止とし、12月からは感染予防を徹底した上、例年のような遠出を控え、町内での手作りイベントを中心に行いました。

また、中止していた期間には少しでも登録者の生きがいにつながることを期待し、前年度に実施した写真をすごろくにした「思い出すごろく」を作成し、社協だよりに掲載しました。

<会食交流事業実施状況>

開催回数	4回 (-5回)
登録者数	124人 (-3人)
登録世帯数	116世帯 (-2世帯)
延参加者数	78人 (-258人)

※()内は前年度対比 ※ボランティア除く

<会食交流事業実施状況>

開催月	参加者数	主な場所	主な内容
5月			中止
6月			中止
7月			中止
8月			中止
9月			中止
10月			中止
11月			中止
12月	17人	老人福祉センター	毛糸のぽんぽんでつくる クリスマスリースづくり
	16人	上郷公民館	同上
1月	18人	老人福祉センター	令和元年の寄りあいっこ思い出すごろく大会
2月	24人	老人福祉センター	季節を感じて・桃の節句 春のつるし飾りづくり
合計	75人		

(5) 高齢者生活福祉センター事業(町委託事業)

高齢や障害等のため居宅において生活することに不安のある方に対し、介護支援機能、緊急時支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者等が安心して生活を送れるよう支援しました。夜間及び休日等の緊急時は、「老健たっこ」と連携し対応しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策として、居住利用者へ廊下でのマスク着用を依頼するほか、毎日の検温、来客者の制限、手すり等の消毒等を行うことで安全対策に努めました。

<高齢者生活福祉センター利用状況>

実利用世帯	11世帯 (+2世帯)
・単身	11世帯 (+2世帯)
・夫婦	0世帯 (±0世帯)
延利用者数	47世帯 47人 (+3世帯 +3人)

※()内は前年度対比

<高齢者生活福祉センター月別利用状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	7	2	0	0	0	0	0	3	9	9	9	8	11人
延利用日数	193	60	0	0	0	0	0	6	273	279	252	238	1,301日

※実利用者数の計は年間の実利用者数

(6)低所得世帯の援助

ア. 生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口との連携のもとに各種資金の相談・償還指導を行ない世帯の自立援助に努めました。一方、近年の社会経済の低迷と償還に対する認識が低い借受人及び連帯保証人もあり、長期滞納者の増加に伴い償還指導は年々困難になっています。しかし、本制度の趣旨に鑑み、貸付の必要な世帯が適切に利用できるよう制度のPRと貸付の相談や償還指導による世帯の自立更生の支援の強化が必要となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により収入が減少した世帯に対して特例貸付が実施され、6件の貸付が行われました。

<年度末貸付総件数>

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
教育支援資金	8件	1,381,129円	914,899円
更生資金	1件	700,000円	157,000円
福祉資金	1件	2,050,000円	924,980円
特例緊急小口資金	5件	600,000円	600,000円
特例総合支援資金	1件	600,000円	600,000円
計	10件	4,131,129円	2,232,329円

※R3.3.31 現在償還中を含む

<生活福祉資金貸付調査委員会>

日時	令和3年3月12日(金)午後3時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	生活福祉資金貸付及び償還状況について

イ. たすけあい資金貸付事業

わずかな出費で生活が脅かされるような低所得者に対して「生活資金」の貸付を行い安定した生活が送れるように援助しました。しかし、長期滞納者が多くなっており、世帯状況の調査と合わせて償還に対する意識づけを促しながら世帯の自立につながるような支援が必要となっています。

<たすけあい資金新規貸付状況>

資金の種類	件数	金額
生活資金	2件	60,000円

ウ. 生活困窮者自立相談支援事業への協力

生活困窮者等の自立支援に向けて、三戸地域自立相談窓口(NPO 法人ワーカーズコープ)と連携し、対象となる世帯等の情報提供や同行訪問、会議への出席など、相談者の自立支援・協力を行いました。

<相談支援の状況>

進捗状況報告会	9回
進捗報告会及び支援調整会議	1回
生活福祉資金特例貸付に係る状況確認	1回

エ. フードバンク事業

青森県社会福祉協議会が実施するフードバンクシステムにより食品等を無償で譲り受け、また、個人や団体等から寄付された食品を自立支援を目的に生活に困窮する世帯へ提供しました。

<提供状況>

提供者数	5名(+2名)
提供回数	5回(-1回)

※()内は前年度対比

オ. 青森しあわせネットワークとの連携

青森県社会福祉協議会が主体となり県内の賛同した社会福祉法人が協力する「青森しあわせネットワーク」と連携し、制度の狭間のニーズや生活課題に困る方の課題解決に向けて連携しました。

<利用状況>

利用者数	1名(+1名)
利用回数(経済的援助)	2回(+2回)
内 訳	1/21(木) 運転免許証更新代(3,300円)
	1/27(水) 三戸→盛岡間切符代(2,680円)

※()内は前年度対比

(7) 老人福祉センター管理事業(指定管理者制度)

パート職員を2人配置し、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行ったほか、老人福祉センターの利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修会の支援を行い高齢者の健康保持、福祉の増進に努めました。

新型コロナウイルス感染予防対策では、利用者に入館前の検温と手指消毒を徹底してもらい、距離を取った休憩スペースの確保やお茶の提供を一時中止するなどして利用者の安全管理に努めました。

また、国の緊急事態宣言が発令された際、町の公共施設が閉館となったことから、老人福祉センターも2日間の休館対応を取っています。

<老人福祉センター利用状況>

開所日数	241日 (+1日)
延利用者数	9,683人 (+342人)
平均利用者数/日	40.2人 (+4.3人)

※()内は前年度対比

(8) ほっとできる居場所づくり事業

誰でも集える居場所づくりを目的とした本事業でしたが、年度当初は新型コロナウイルス感染症による影響で実施ができなかったことから、コロナ禍における高齢者への応援として、各種社協事業に登録している75歳以上の世帯のうち、今回は寄りあいことふれあい・いきいきサロン参加者に対して、学童保育利用児童が塗り絵をした絵はがきを配布しました。

また、感染状況が落ち着いてきてからは、サンモールにぎわい広場を拠点に、「ほのぼの・よしみちカフェ」を毎週木曜日に開催し、町民が自由に出入り可能な居場所を設けることで、コロナ禍での生きがいづくりに努めました。

○コロナに負けるな！絵はがき配布事業

対象者	町内に住む 75 歳以上の寄りあいっこ登録者及びふれあい・いきいきサロン登録者 合計 397 世帯(寄りあいっこ 21 件、サロン 376 件)
実施期間	令和 2 年 9 月 15 日～9 月 21 日送付
内 容	往復はがき利用 往: たっこ王子ぬり絵(学童すくすく館学童利用者作成) 復: コロナ禍における日常生活及び健康に関するアンケート、川柳募集
回答	160 件(有効回答率: 40%) ※アンケート結果は、社会福祉推進委員会及び社協だよりにて報告

○ほのぼの・よりみちカフェ

開催期間	令和 2 年 12 月 24 日～令和 3 年 3 月 31 日 祝日を除く木曜日実施 全 12 回
場 所	サンモールにぎわい広場
特徴及び 内 容	・開催時間内(10:00～14:00)であればどなたでも出入り自由 ・茶菓の無料提供(個包装) ・脳トレ、手芸、軽体操、交流等生きがいつくりと介護予防
参加者	延参加者 154 名、1 回当たり 12.8 名、1 人当たり利用時間 68.5 分

(9)あつぷるハート(日常生活自立支援事業)の支援・協力

判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協である八戸市社会福祉協議会との連携により、利用者との契約に基づいた福祉サービスの利用援助の支援・協力をしました。

相談件数	2 件(-7 件)
新規契約件数	1 件(+1 件)
解約件数	1 件(±0 件)
契約支援件数	3 件(±0 件)
支援回数	24 回(-1 回)※
生活支援員	2 名(±0 名)

※事前訪問、相談訪問含む

4.福祉教育・ボランティア活動の推進と情報提供

(1)ボランティアの育成

ともに支えあい、ともに築く福祉の町づくりをめざし、地域住民の参加による福祉活動を推進するため、各種ボランティアの育成に努めました。しかし、福祉ボランティアだけでなく、住民が多様なボランティア活動に参加できるような体制が十分に整っていないため、今後は、町や社会教育の分野をはじめとする関係機関と連携しボランティアセンター(機能)を構築していく必要があります。

<ボランティア登録状況>

社協事業登録ボランティア	個人 295 人 (ほのぼの協力員、福祉安心電話協力員、福祉協力員)
デイサービスボランティア	個人 0 人 (-1 人)
配食サービスボランティア	個人 0 人 (-1 人)
寄りあいっこボランティア	個人 2 人 (-1 人)
その他のボランティア	1 団体 31 人 (±0 団体 +4 人)

(2) 児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の各学校(小学校 3 校、中学校 1 校、高校 1 校)を福祉協力校として指定し、活動費として 1 校当たり 5 万円を助成し福祉活動の支援を行いました。

また、例年各学校の担当教員を参集して行っていた連絡会議は書面による開催となりましたが、各学校と連絡調整をしながら活動の支援を行いました。

<福祉協力校連絡会議>

日時・場所	書面による開催
案件	福祉教育メニューについての説明

<福祉協力校活動支援内容>

令和 2 年 9 月 16 日	田子高校	手話体験授業(3 年生選択授業対象生徒)
令和 2 年 11 月 6 日	田子高校	盲導犬体験授業(2、3 年生選択授業対象生徒)

(3) 啓発宣伝事業

ア. 第 54 回田子町社会福祉大会の開催

例年、町民の福祉意識の高揚と地域福祉の推進を図るために開催している本大会も、コロナ禍により人を集めての開催が困難と判断し中止としました。

なお、受賞者に対しては大会長のメッセージを添え、賞状を直接お届けしました。

イ. 広報活動

「社協だより」を 4 回(1 回 2,200 部)発行し、ケーブルテレビの活用により社協事業及び福祉活動の啓発宣伝に努めました。

また、ホームページにおいても、社協の事業やイベント等様々な情報を随時発信しました。

(4) 福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員(52 人)を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラシ配布など、コロナ禍においても本会と地域とのパイプ役として多大な協力をいただきました。

また、本会事業に対する理解を深めるための研修会を、新型コロナウイルス感染症対策として 3 回に分けて開催しました。

なお、今年度はコロナ禍での活動依頼ということもあり、福祉協力員に対し、集金等世帯訪問時用のマスクやトートバッグの配付も行いました。

<令和 2 年度福祉協力員委嘱状交付及び福祉協力員研修会>

日時・場所	令和 2 年 7 月 15 日(水) 午後 1 時 30 分	田子町中央公民館 ホール
	7 月 16 日(木) 午前 10 時 30 分	〃
	〃 午後 2 時	上郷公民館 和室
研修内容	ほのぼのコミュニティ 21 推進事業について 福祉協力員の役割について 社協会費の集金方法について(社協会費納入書の配布) 赤い羽根共同募金活動について	

(5)在宅介護者の支援

在宅で高齢者や障害者の介護をされている方々が同じ立場の方々とお互いの体験や悩みなどを話し合うことでのリフレッシュを図るために、ケアマネジャーや各施設の協力のもと座談会を開催しました。

日時	令和3年3月10日(水) 午前10時30分～午前11時30分
場所	サンモール商店街 にぎわい広場
参加者	8人(介護者5人 ケアマネジャー1名・事務局2名)

5. 共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関の協力により次のような実績を収めることができました。

また、青森県共同募金会と連携し、ご当地ピンバッジを作成し、地域福祉活動の醸成に努めました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、イベント募金を実施できなかったため、ガーリックセンターにピンバッジのガチャガチャを設置させていただき、町外の方へ向けた募金活動を行いました。

<赤い羽根共同募金実績>

赤い羽根共同募金総額	1,533,518円
戸別募金(1,798世帯)	1,268,772円
職域募金(22件)	77,273円
学校募金(4校)	33,473円
ピンバッジ募金	150,500円
県共募からの振替(たっこ王子ピンバッジ)	3,500円

6. 田子町学童保育事業・子育てサロンの実施

(1)田子町学童保育事業の実施(指定管理・町委託事業)

田子町の指定管理者として「すくすく館」を、委託事業として「すくすく館田子分館」「すくすく館上郷分館」、合わせて3ヶ所の学童保育事業に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響で予断ならない状況が続く中、予防対策として設備・物品等の消毒、職員・児童をはじめとした検温や手洗いうがい、マスク着用の徹底を心掛けたほか、保護者からもご協力いただき、児童の安全のため一体となって予防に努めました。

また、緊急事態宣言時に町内の公共施設が休館対応となったことで、上郷分館で使用している公民館が一時閉館になった際には、町関係課と協議のうえ、3館合同での保育を実施することで、コロナ禍における受け入れ態勢の整備に努めました。

このような平時とは違う状況の中で児童が「コロナ禍でもできること」として、すくすく館では田子小学校前のバス停の清掃や敷地内の雪かき、上郷分館では公民館や周辺のごみ・枝拾いを通してふるさとへの思いの醸成や地域貢献の経験を積めるよう努めました。

また、今年度も清水頭小学校の利用児童については平日の小学校下校時に送迎を行い、学童保育利用における地域格差の解消に努めました。

その他に保護者に向けたアンケートを実施し、用紙以外にインターネットも活用することで回収率を上げ、今後の運営改善に役立てました。

＜学童保育実施状況＞

項目		すくすく館	すくすく館田子分館	すくすく館上郷分館
定員数		70名	20名	20名
開設時間	月～金曜日	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分
	土曜日・長期休み 及び学校休業日	午前7時15分～ 午後6時40分	午前7時15分～ 午後6時40分	午前8時～ 午後6時40分

＜開設日数・登録児童数＞

施設	年間開設日数					登録児童数		
	平日	土曜	振替	長期	計	区分	年度当初	年度末
本館	197	40	8	44	289	通常	54	42
						長期	5	6
						一時	1	7
						計	60	55
田子分館	201	40	4	44	289	通常	12	11
						長期	0	1
						一時	2	0
						計	14	12
上郷分館	201	42	4	43	290	通常	14	14
						長期	0	0
						一時	0	0
						計	14	14
計	599	122	16	131	868	通常	80	67
						長期	5	7
						一時	3	7
						計	88	81

＜月別開設日数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	25	23	26	25	22	23	27	23	24	23	22	26	289
田子分館	25	23	26	25	22	23	27	23	24	23	22	26	289
上郷分館	25	23	26	25	22	24	27	23	24	23	22	26	290
計	75	69	78	75	66	70	81	69	72	69	66	78	868

＜延利用児童数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	717	749	794	661	512	632	655	595	563	502	513	576	7,469
田子分館	133	109	249	216	176	213	210	205	204	184	186	204	2,289
上郷分館	249	245	315	296	240	271	299	274	283	259	254	315	3,300
計	1,099	1,103	1,358	1,173	928	1,116	1,164	1,074	1,050	945	953	1,095	13,058

＜一日当たりの利用児童数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	28.7	32.6	30.5	26.4	23.3	27.5	24.3	25.9	23.5	21.8	23.3	22.2	25.8
田子分館	5.3	4.7	9.6	8.6	8.0	9.3	7.8	8.9	8.5	8.0	8.5	7.8	7.9
上郷分館	10.0	10.7	12.1	11.8	10.9	11.3	11.1	11.9	11.8	11.3	11.5	12.1	11.4
計	44.0	48.0	52.2	46.8	42.2	48.1	43.2	46.7	43.8	41.1	43.3	42.1	45.1

＜延支援員配置数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	84	63	76	74	66	63	75	63	67	58	67	95	851
田子分館	41	35	51	48	42	45	50	45	46	42	44	58	547
上郷分館	57	47	55	55	54	49	60	56	56	52	47	64	652
計	182	145	182	177	162	157	185	164	169	152	158	217	2,050

＜一日当たりの支援員配置状況＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	3.4	2.7	2.9	3.0	3.0	2.7	2.8	2.7	2.8	2.5	3.0	3.7	2.9
田子分館	1.6	1.5	2.0	1.9	1.9	2.0	1.9	2.0	1.9	1.8	2.0	2.2	1.9
上郷分館	2.3	2.0	2.1	2.2	2.5	2.0	2.2	2.4	2.3	2.3	2.1	2.5	2.2
計	7.3	6.2	7.0	7.1	7.4	6.7	6.9	7.1	7.0	6.6	7.1	8.4	7.1

＜学童保育利用者アンケート調査＞

対象者	令和2年度登録64世帯(脱退・利用なしの世帯を除く)
実施期間	令和3年3月5日～3月15日
内容	コロナ禍における満足度調査
有効回答	45件(インターネット25件、用紙20件) 有効回答率:70%

(2)子育てサロンの実施

学童保育施設「すくすく館」を週2回開放し、子育て中の保護者や乳幼児、子育てに関わっている方などを対象に、「気軽に出かけてほっとできる場所」を提供し、子育て支援の一環として、子育てサロンを実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により4月からの通常開催は行えず、9月からの開催となりました。9月から翌年1月までは電話相談とオンラインサロンでの開催とし、現場に来なくてもできる子育て支援の実施に努めました。また、定期的に「子育て通信」を作成し、子育てに役立つ情報や町地域包括支援課協力のもと、「ちょこっと作って美味しく食べる料理のレシピ」なども登録者に送付しました。

初めて行うオンラインサロンは難しいという意見があったことから、支援員と共に講習会を開いたり、12月にはクリスマス会を屋外で開催したりと、密にならない環境での行事も行いました。

2月からは週2回だった開催日を、平日1日1組限定の完全予約制で町内の方のみ受入れる方法を取り、新型コロナ感染予防対策を徹底した上で現場の開放を始めました。

また、学童保育事業と同様に子育てサロンでも利用者アンケートをインターネットで実施し、今後の運営改善に役立てました。

＜子育てサロン実施状況＞

開催日時	毎週火・木曜日 10:00～12:00
開催場所	すくすく館
実施日数	66日
登録世帯数	6世帯(親6人 子ども6人)
延利用世帯数	12世帯 21人
1日平均利用世帯数	0.2世帯 0.3人

＜子育てサロン実施状況＞

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用世帯	-	-	-	-	-	1	0	0	3	0	2	2	-
実施日数	-	-	-	-	-	8	9	7	9	7	15	11	66日
利用世帯数	-	-	-	-	-	1	0	0	4	0	4	3	12世帯
1日当たりの利用世帯数	-	-	-	-	-	0.1	0	0	0.4	0	0.3	0.3	0.2世帯
延利用者数 (うち子供の数)	-	-	-	-	-	2	0	0	6	0	8	5	21人 9人
1日当たりの利用者数	-	-	-	-	-	0.3	0	0	0.7	0	0.5	0.5	0.3人

＜子育てサロン利用者アンケート調査＞

対象者	令和2年度登録6世帯
実施期間	令和3年3月5日～3月15日
内容	コロナ禍における満足度調査
有効回答	4件(有効回答率:67%)

7. 福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会の開催、スポーツの振興など県や郡の関係機関と連携しながら会の指導育成に努めました。

○田子町老人クラブ連合会

○田子町身体障害者福祉会

○田子町手をつなぐ育成会

○田子町共同募金委員会